

ART LEAP 2020

## 「特別的にできない、ファンタジー」 出展作家：蓮沼昌宏

“もしかしたら、できるかどうかもわからない”

### ——特別的にできない状況から生まれる「さみしさ」と緩やかに向き合う展覧会

神戸アートビレッジセンター [KAVC] (神戸市兵庫区、指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団、館長：大谷燠) は、2021年2月20日(土)～3月14日(日)に展覧会、ART LEAP 2020「特別的にできない、ファンタジー」を開催いたします。本展は、蓮沼昌宏 (はすぬま まさひろ) による個展となり、全て新作によって構成されます。

蓮沼はこれまで、主に絵画や手回し式のアニメーション装置「キノーラ」を用いて物語を紡ぎ出してきました。その物語は、さまざまな土地に滞在しながら得た、場所の歴史や現地の人々へのインタビューをベースとする一方で、場面背景や起承転結が明確に提示されない、いわば「非現実〈ファンタジー〉」なものとして展開されています。

2020年、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、私たちの日常は大きく変化しました。人々の往来や触れ合いは制限され、予定されていた数多くの催しが中止となりました。蓮沼もまた、自身の展覧会の中止を経験しました。こうした私たちの意思とは関係なく「特別的にできない」状況は、現在進行形で世界中に「さみしさ」を与えています。

現在もなお、状況が好転することはなく、「ART LEAP 2020」は“もしかしたら開催ができるかどうかもわからない”という状況に置かれています。こうした状況の中、蓮沼は、本展タイトルを「特別的にできない、ファンタジー」と題し、特別的にできない「さみしさ」をインスピレーションとして、神戸でのリサーチをもとに新作を発表します。

「特別的にできない、ファンタジー」の中で、蓮沼が展開する「非現実〈ファンタジー〉」は、今、誰もが感じている特別的にできない「さみしさ」という現実を捉え直す存在となるでしょう。「さみしさ」を真っ向から捉えるのではなく、「さみしさ」をないがしろにするでもない、「さみしさ」との向き合い方を蓮沼は提示します。

### ART LEAP 2020「特別的にできない、ファンタジー」

出展作家：蓮沼昌宏

会 期：2021年2月20日(土) - 3月14日(日) 12:00-19:00  
火曜休館 ※但し、2月23日(火・祝)は開館、翌24日(水)休館

会 場：神戸アートビレッジセンター (1F・KAVC ギャラリー、B1・KAVC シアター、スタジオ3)

入場無料

主 催：神戸アートビレッジセンター [指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団]



撮影：藤井昌美  
画像提供：Minatomachi Art Table, Nagoya [MAT, Nagoya]



展覧会のためのドローイング(2020年)

主催・お問合せ：神戸アートビレッジセンター (指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団) 担当 岡村・野澤  
〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL：078-512-5500 FAX：078-512-5356 Mail：press@kavc.or.jp

※取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

## 作家略歴 蓮沼 昌宏 (はすぬま まさひろ)



1981年東京都生まれ。2010年東京芸術大学大学院美術解剖学研究室にて自画像をテーマに博士号を取得。2016年文化庁海外派遣研修制度でドイツフィルムミュージアム。近年の展覧会に2015年「越後妻有アートトリエンナーレ」新潟。2019年個展「数えることによって獲得するもの」gallery N、愛知。2020年個展「物語の、準備に、備える。」富山県美術館がある。現在、愛知県を拠点に活動。

撮影：三浦知也  
写真提供：Minatomachi Art Table, Nagoya [MAT, Nagoya]

### ▶公募プログラム「ART LEAP」について

神戸アートビレッジセンター [KAVC] では、作家と連携した展覧会づくりを重視し、枠にとらわれない新たな表現の可能性を追求する展覧会を企画してきました。2018年度からは、30代～40代の芸術家を対象に、自身の活動で積んだ経験を基に、新たな表現の創造と意欲的な挑戦の場となることを期待し、公募プログラム「ART LEAP」を実施しています。

ART LEAP 2018では、審査員に建畠哲氏（詩人、美術評論家）を迎え、空中パフォーマーのERIKA RELAXと、美術家の池田精堂によるパフォーマンスユニット「tuQmo（ツクモ）」を選出し、展示のみならず、出展作品を用いたパフォーマンス公演をKAVCシアターで行うなど、施設の特徴を最大限に生かした展覧会を展開しました。続く、ART LEAP 2019では、審査員に片岡真実氏（森美術館館長）を迎え、美術家の潘逸舟（はん いしゅ）を選出しました。KAVCが所在する神戸における移民の歴史や、外国人移住者／労働者へのリサーチを基に、新作を制作し発表しました。

### ▶関連イベント情報

#### ゲストトーク「アートについてチンパンジーとハトのアプローチから」

日時：2月20日（土）18:00-19:30  
出演：齋藤亜矢（芸術認知科学／京都芸術大学准教授）、蓮沼昌宏  
会場：1F・1room  
料金：無料

#### ワークショップ「クルクルアニメーションをつくろう！」（要予約）

日時：3月7日（日）14:00-16:00  
講師：蓮沼昌宏  
会場：1F・1room  
料金：無料  
対象：小学生以上（低学年は保護者同伴）  
定員：8名  
持ち物：空の牛乳パック（1リットル）

#### クロージングトーク「特別にできない、これから」

日時：3月14日（日）18:00-19:30  
出演：蓮沼昌宏、服部浩之（キュレーター／秋田公立美術大学大学院准教授／ART LEAP 2020 審査員）  
会場：1F・1room  
料金：無料

※トークイベントはYouTubeでのライブ配信を予定しています。参加方法等については決定次第展覧会ホームページで発表します。  
※イベント開催中は作品の一部がご覧いただけない可能性があります。  
※都合によりプログラムが変更する場合がございます。

主催・お問合せ：神戸アートビレッジセンター（指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団） 担当 岡村・野澤  
〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL：078-512-5500 FAX：078-512-5356 Mail：press@kavc.or.jp

※取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。